

Signature Hole 18番



同倶楽部の名物ホールは、池が大きくグリーンに食い込み難易度の極めて高い18番。グリーンはベントだが、2段グリーンのアンジュレーションもきつく設計されている。ホールアウトまで一切気が抜けない「プロ泣かせ」のインコース最終ホールだ。



池とバンカーの巧みな配置は一筋縄ではいかない面白さ。四季折々に美しく、桜の時期はまさに幽玄の世界が眼前に広がる



地元の旬の食材を中心に、食にこだわる兵庫の倶楽部ならではの、ワンランク上の料理を是非ご堪能いただきたい



冷泉家の旧天領という歴史と伝承の地に相応しい品格のあるクラブハウスがコースを見守る。手入れの行き届いたグリーンで快適なプレーを満喫できる

センチュリー三木ゴルフ倶楽部

公家の旧天領を舞台に挑む
気品あるチャンピオンコース

神戸三宮の港町から内陸に約45分。播磨の国として早くから文明が開けた三木市にあり、その昔、役行者が不動明王を感得し、空海が3年間修業したとされる霊場跡に創られた「センチュリー三木ゴルフ倶楽部」。

オープンしたのは1990年。気品溢れる18ホールがプレイヤーを迎えてくれる。優雅さと同時に闘争心をかきたてる水を巧みに配したコースは、名勝負の舞台にもなった堂々たるチャンピオンコースである。設計は、関西を代表する名設計家・加藤福一氏。緩やかなスロープと池が適度にミックスされたコースレイアウトが絶妙で、いずれのホールも個性を宿し、プレイヤーを飽きさせない戦略性が大きな魅力となっている。2018年にはスコア集計機能付きのカートナビが導入され、4人乗りの電磁誘導乗用カートでのラウンドは快適そのものだ。

落ち着いた広々としたクラブハウスは、価値を知る大人のための社交場に相応しい、ゴルフを愛する仲間の集いの場でもある。VIPルームや会議室も完備され、世界的にも希少なブランドピアノと暖炉を配したラウンジは、歓談のひと時をより上質に彩ってくれる。眺めの良いレストランは、「食事が高評価のゴルフ場」ランキングの近畿3位を獲得するレベルの高さで、舌の肥えた関西の食通を唸らせる料理も同倶楽部を訪れる愉しみの一つとなっている。地元三木の旬の食材を使った「三木和膳」、丹波の猪肉を配合した数量限定の「プレミアムメンチカツとエビフライ」、三田牛のおうどん「三田牛のお蕎麦」等、兵庫の美味を是非お試しください。

チェックインからアウトまで、全てにおいて品格と気配りに満ちた名門倶楽部で、至福のゴルフを是非あなたも。

HOLE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
PAR	4	4	3	5	4	4	3	5	4	36	4	4	5	3	4	5	3	4	4	36	72
BACK	416	418	176	547	366	411	176	533	413	3,456	418	411	548	158	431	556	201	400	458	3,581	7,037
REGULAR	392	399	160	525	336	377	144	518	396	3,247	396	373	513	139	409	525	187	368	408	3,318	6,565
FRONT	370	381	140	505	315	357	122	503	374	3,067	376	371	485	120	389	504	143	343	391	3,122	6,189



お問い合わせ
 ●0794-86-2600
 ●住/三木市細川町高篠梨の木152
 ●休/元日
 ●プレー料金/ハイシーズン平日 9,750円(税込)~
 ●http://www.century-mikigolf.co.jp/

